

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

【Ⅰ：会員数】

正会員：26名（前年度より8名の減）

賛助会員：33名（前年度より24名の減）

合計：59名（前年度より32名の減）

【Ⅱ：特定非営利活動法人つばめっこ】

※NPO法人会員会費で運営する事業

1. 広報活動

(1) ホームページ

昨年度同様、毎月中旬の時期を目安に更新を行っております。

(2) 機関紙（つばめっこめ〜る）

本年度第1回目（全3回発行）となるつばめっこめ〜るを、7月（令和元年度No.1）、11月（令和元年度No.2）、3月（令和元年度No.3）に224部発行し、会員・関係者へ配布・送付しました。

2. 卒業生&大人のすわろ一会事業（つばめっこ卒業生対象）

(1) つばめっこ卒業生対象事業主旨

ア. 活動の主体者

特定非営利活動法人つばめっこ

イ. 目的

子どもが卒業しても、つばめっこに遊びに来て楽しみながらリフレッシュできるような機会を作る。

ウ. 対象

つばめっこを卒業したOB・OG、その保護者

エ. 今後の展開

毎年1〜2回の開催を予定

<今年度の活動>

令和元年10月5日（土）にキリンビールビアポートにて開催し、卒業生5名、保護者2名、職員4名が交流を図りました。（通算8回目）

【Ⅲ：福祉サービス事業】

※給付費と利用料で運営する事業

1. 放課後等デイサービス事業

ア. 事業方針

障害のある子どもたちが、放課後および長期休暇中に有意義な時間を過ごせるよう、本人や保護者の想いを受け止めながら計画をし、活動を行う

イ. 利用者の範囲

学校教育法に規定する学校（幼稚園、大学を除く）に就学している障害児

ウ. 開所時間

	営業時間	サービス提供時間
授業終了時	11：30～18：00	12：00～17：00
休日	9：00～15：30	10：00～15：00

エ. 指導員人数

1日につき4名～7名

<事業詳細>

令和元年度より、福室つばめっこと栄つばめっこが合同となり中高生対象から、小中高生対象となりました。各事業所の詳細は下記の通りです。（1日の平均登録者数は、少数第1位を切り上げて算出しています。）

	泉中央つばめっこ	七北田つばめっこ	福室つばめっこ
対象児童	主に小学生	中学生、高校生	小学生、中学生、高校生
登録者数	23名	20名	22名※1
1日の平均登録者数	6名	8名	10名
開所日数	237日	237日	240日
利用者人数	延べ1,680	延べ1,570名	延べ2,205名
送迎回数	延べ2,925回	延べ2,539回	延べ4,237回
放課後活動例	買い物、季節に応じた製作、公園遊び、戸外遊び、おやつ作り 室内遊び、体操、ダンス等		
長期休暇活動例	公共機関を利用してお出掛け、カラオケ、工場見学、映画鑑賞、宿泊 活動(事業所、七ツ森)、プール、体育館での運動、調理、等		
避難訓練	火災：6月 地震：11月	地震：6月26日 火災：11月5日	火災：6月21日 地震：2月4日

※1 人数内訳（小学生13名、中学生4名、高校生5名）

<栄つばめっこと合同後の変化>

- ・対象児童の年齢層が広がったため、活動内容の検討が必要となった。また食事時間や移動時間にも差があるため、時間設定にも配慮が必要である。

(1) 放課後活動

- ①活動時間が短くなり、下校時間によってはつばめっこで過ごす時間が短くなった児童がいた。また、全員揃っての活動が難しく、時間をずらして活動を行うことがあった。
- ②季節にあった製作や活動をすることができた。
- ③体を動かす活動(体操・ダンス)を取り入れることができ、おやつ作りでは保護者の要望(ヘルシーなもの)を取り入れることができた。また、カードゲーム等みんなで遊ぶことが増えてきた。(七北田)
- ④ワンフロアで見通しはいいが、子どもがクールダウンできる場所がなかった。(福室)
- ⑤職員体制を十分に配置したため、安全に活動することができた。
- ⑥送迎の際、添乗を配置できないことが多かった。(泉中央)
- ⑦新型コロナウイルス感染防止対策として、3月から検温や手洗い、手指消毒、室内や車内の清掃・消毒を徹底して行った。

(2) 長期休暇活動

- ①プール活動は、他事業所の職員に協力をしてもらい、活動をすることができた。
- ②遠出の活動や初めての企画をすることができ、楽しく活動することができた。また、職員の配置も十分でケガやトラブルもなく、必要に応じて臨機応変に対応することができた。
- ③福室つばめっこでは小学生～高校生と一緒に活動をするため、活動内容の検討が必要である。また、食事時間や移動時間等にも差があるため、時間は余裕を持って設定する必要がある。
- ④調理活動や製作、プール、おでかけ等バランス良く活動できた。
- ⑤3月の春休み活動は、新型コロナウイルスの影響で行うことができなかった。

(3) 放課後ネットワーク仙台の加盟

放課後ネットワーク仙台に加盟し、研修や提言、啓発活動に取り組んでいます。

2. 障害児(者) 家族支援等推進事業

(1) 事業方針

利用者の生活様式や性格、趣味嗜好などの価値観を尊重し配慮しながら、無理なく生活スキルの向上および余暇活動の充実と拡大が図れるよう、一時的な介護サービスと宿泊介護サービスの提供をして支援を行う。また同時に、利用者の家族に対しても日頃の介護を離れ休息時間の確保、急病や用事がある場合の受け入れなどを通して生活支援を目指す。

(2) 対象者

仙台市内に在住する障害児(者) (主に泉区、宮城野区)

(3) 内容

1) 一時介護事業

○日中介護

食事、排泄、入浴その他必要な身辺介助、生活体験を広げる介護(遊び相手、話し相手等)等のサービスの提供を行う。

○送迎介護

日中介護、宿泊介護の利用に伴う送迎を行う。(※日中介護に含まれる)

※当事業所では外出介護、自宅介護は行っていません。

2) 宿泊介護

食事、排泄、入浴その他必要な身辺介助、生活体験を広げる介護（遊び相手、話し相手等）等のサービスの提供を行う。

(4) 登録者数

60名（18歳以上29名、18歳未満31名）

(5) 利用定員

1) 一時介護事業

	日中介護
利用定員 (1時間あたりの上限)	4名

2) 宿泊介護事業

	宿泊介護
利用定員 (1泊あたりの上限)	2名

(6) 開所日および時間

①一時介護受入時間

8:00～18:00

②宿泊介護受入時間

17:00～翌10:00

※原則365日24時間対応

※事業所の運営上、休業日を設けることもある。

(7) 予約受付時間

(電話・窓口対応) 10:00～17:00

(FAX) 原則、24時間受付

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの運営時間（利用者受入時間）は、4,876時間となり、登録者数は65名（18歳以上35名、18歳未満30名）となっています。

運営時間4,876時間を今年度目標（仙台市へ提出している）としている年間7,000時間と比較してみると、2,124時間、運営時間が少ない現状になっています。ちなみに4,876時間の内訳は次のようになります。

一時介護事業		宿泊介護事業
日中介護 1,834 時間	送迎介護 552 時間	宿泊介護 2,490 時間
2,386 時間		2,490 時間
計 4,876 時間		

登録者の登録目的内容が多い順に挙げると、①本人の楽しみのため、②親の休息のため、③兄弟の用事のため、④緊急時のため、⑤その他の理由となっています。

業務上の問題点として、週末（金曜日から日曜日）・祝日に日中介護・宿泊介護の利用希望が多くなっていますが、介護に入れる職員（登録介護人を含め）が不足しているため、調整が難しいことです。

このように受け入れ体制を整えることが難しい現状のため、つばめっこ・かやの実関係者以外の方は話を聞き、できる限り受け入れるようにはしていますが、断ることも少なからずあります。

<4月～10月で利用を断った件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12件	11件	4件	4件	5件	5件	4件	5件	2件	5件	2件	5件	64件

3. 各事業共通事項

(1) 研修

①内部研修

ア. 目的

職員間の連携を高め、情報の共有、共通認識を図る。

イ. 目標

専門知識を向上させ、日々の現場に活かす。

ウ. 対象

つばめっこの職員とする。

開催数	実施時期	内容	講師
第1回	7月16日	救急救命講習	泉消防署職員
第2回	1月21日	虐待について	臨床心理士・公認心理士 鈴木 正貴

②外部研修

【2019年】

(6月)

○行動障害研修（基礎編）「支援を行う際の基本の考えについて」

(9月)

○サービス管理責任者更新研修 「自己評価、グループワーク」

(10月)

○仙台市放課後等デイサービス事業者従事者研修「障害児支援の基礎理解と必要な支援について」

(12月)

○宮城県サービス管理責任者等更新研修

○仙台市放課後等デイサービス事業所従事者研修

「仙台市における学齢期における相談の状況と課題について」

「ニーズに応じた個別支援のあり方」

(2)危機管理マニュアル

各事業所へ避難訓練実施の呼び掛け、避難訓練後、各区で避難訓練時の情報共有会（児童の様子、問題点など）などを行っております。

【IV：ご寄付・助成金】

公益財団法人 ノエビアグリーン財団助成事業	750,000 円
文化庁 伝統文化親子教室事業支援	199,000 円

令和元年度 活動計算書			
平成31年 4月 1日～令和 2年 3月31日			
科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	185,000		
賛助会員受取会費	68,000	253,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	15,000		
受取給付金	11,824,106	11,839,106	
3. 事業収益			
自主事業収益			
児童デイサービス	63,702,376		
短期入所サービス	0		
レスパイト	2,718,574		
相談	0	66,420,950	
4. その他収益			
受取利息	126		
親の会寄付金	37,014		
雑収入	260,850	297,990	
経常収益計			78,811,046
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	38,325,554		
賞与	3,934,500		
法定福利費	4,877,964		
退職金	0		
通勤費	1,299,841		
福利厚生費	656,194		
人件費計	49,094,053		
(2)その他経費			
交通費	21,450		
教材費	298,344		
活動費	2,026,425		
研修費	79,155		
地代家賃	5,079,088		
車両費	6,979,772		
印刷製本代	1,218,513		
水道光熱費	1,135,085		
消耗品費	712,338		
保険料	845,510		
事務用品費	464,948		
通信費	1,797,700		
業務委託費	800,000		
会議費	0		
租税公課	149,000		
広告費	51,800		
修繕費	0		
交際費	30,745		
管理諸費	2,185,020		
雑費	1,014,056		
減価償却費	1,527,594		
その他経費計	26,416,543		
事業費計		75,510,596	
2. 管理費			
交通費	0		
消耗品費	10,893		
印刷代	0		
保険料	0		
通信費	30,046		
会議費	16,340		
租税公課	3,450		
諸会費	0		
雑費	246,050		
減価償却費	607,500		
管理費計		914,279	
経常費用計			76,424,875
当期経常増減			2,386,171
特別利益			
税引前当期正味財産増減額			2,386,171
法人税、住民税及び事業税			122,000
当期正味財産増減額			2,264,171

監査報告書

令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の事業報告、収入および支出関係書類、領収書、その他関係書類を監査したところ、適正かつ正確に執行されていると認められます。

監査期日 令和 2 年 5 月 20 日（水）

監査場所 特定非営利活動法人つばめっこ

仙台市泉区七北田字日野 123-9

令和 2 年 5 月 20 日

監事 江戸静江



【Ⅰ：会員数】

正会員：15名 賛助会員：18名 計：33名
(令和2年5月現在)

【Ⅱ：特定非営利活動法人つばめっこ】

※NPO法人会員会費で運営する事業

1. 広報活動

(1) ホームページ

毎月中旬頃の時期を目安に更新を行っております。

(2) 機関紙（つばめっこめ〜る）

年に3回、7月（令和2年度No.1）、11月（令和2年度No.2）、3月（令和2年度No.3）に発行し、会員・関係者・関係機関へ配布・送付する予定です。

2. 卒業生&大人のすわろー会

全1回を予定しています。

【Ⅲ：福祉サービス事業】

※給付費と利用料で運営する事業

1. 放課後等デイサービス事業

(1)開所日・営業時間及びサービス提供時間・1日の登録平均数

1) 開所日

令和2年度は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間で、土・日・祝日を除く日の開所を予定しています。

2) 営業時間及び提供時間

営業時間	<ul style="list-style-type: none">・学校終了後 11時30分～18時00分・学校休業日 9時00～15時30分
------	---

サービス提供時間	<ul style="list-style-type: none"> ・学校終了後 12時00分～17時00分 ・学校休業日 10時00分～15時00分
----------	--

3) 1日の平均登録者数見込み (単位：人)

事業所名	令和2年度	令和元年度	前年度比較
泉中央つばめっこ	6	6	増減なし
七北田つばめっこ	7	8	1減
福室つばめっこ	10	10	増減なし

※1日の登録平均数・利用者数は、少数第1位を切り上げて算出しています。

(2) 放課後活動

- ①利用者が興味を持って活動に参加できるよう、活動計画の立案を行います。
- ②児童の実態を把握し、基本的なマナー・生活習慣の定着等が図れるよう、支援に努めていきます。
- ③昨年度に引き続き文化庁による伝統文化親子教室事業助成金を活用し、外部より先生をお招きして、年に数回、日本舞踊を体験できる機会を作っていきます。

(3) 長期休暇活動

- ①多くの利用者が活動に楽しんで参加できるよう、活動計画を立案し取り入れて行きたいと考えています。
- ②心身の調和を図れるよう、室内活動と戸外活動のバランスを考慮し、活動に幅を持たせ展開したいと考えています。
- ③利用者が安全な環境の下、安心して活動に取り組めるよう、活動計画を設定するように努めて行きます。

(4) 4事業所合同クリスマス会

令和2年12月12日(土)に開催を予定しています。

(5) アンケートの調査の実施

昨年度と同様の時期にアンケートを実施する予定です。

(6) 放課後ネットワーク仙台の加盟

放課後ネットワーク仙台に加盟し、研修や提言、啓発活動に取り組んで行きます。

2. 障害児(者) 家族支援等推進事業

令和2年4月1日から令和2年9月30日開所を予定しています。

運営時間(利用者受入時間)は、年間3,490時間を予定しています。

【運営時間内訳】

(単位：時間)

介護サービス	運営時間
一時介護サービス（日中・外出・自宅・送迎）	2,095 時間
宿泊介護サービス	1,400 時間（140 泊）

※仙台市の規定により、1泊は10時間扱いで算出しています。

3. 各事業共通事項**(1) 研修****1) 内部研修**

年3回の研修を予定しています。

※4月に予定していた研修は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

研修を行ううえで、以下のことに留意して進めて行きます。

- ① 職員のスキルアップ等につながるよう、研修を企画、実施、振り返り（評価）を行い、常に研修の質を向上させていくよう取り組む。

※事例検討会を実施する場合は、職員の理解を深められよう映像等を用いて行う。

2) 外部研修

職員の知識・技術の習得と向上・深化が図れるよう、必要に応じて随時、仙台市、宮城県、社会福祉法人が主催する研修に参加して行きます。

(2) 避難訓練等の実施

特定非営利活動法人つばめっこに関する事業及び職員、利用者とその家族等に対し、緊急時の行動基準に基づいて共通した避難行動を周知徹底し、生命の安全を確保できるように避難訓練に取り組んでいきます。また、必要に応じてマニュアル等を見直し更新していくように努めていきます。

令和2年度 活動予算書			
令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日			
科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	180,000		
賛助会員受取会費	140,000	320,000	
2. 寄付金収入			
受取寄付金	8,717,800	8,717,800	
3. 事業収入			
自主事業収益			
児童デイサービス給付金	60,000,000		
児童デイサービス利用料	3,000,000		
短期入所サービス給付金	1,200,000		
短期入所サービス利用料	0		
レスパイト	1,300,000		
相談	0		
		65,500,000	
4. その他収益			
受取利息	0		
雑収入	400,000	400,000	
経常収入計			74,937,800
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	38,600,000		
賞与	4,400,000		
法定福利費	4,530,000		
通勤費	1,040,000		
福利厚生費	850,000		
人件費計	49,420,000		
(2)その他経費			
交通費	40,000		
教材費	400,000		
活動費	1,530,000		
研修費	220,000		
地代家賃	4,836,960		
車両費	7,200,000		
印刷製本代	671,849		
水道光熱費	720,000		
消耗品費	1,000,000		
保険料	860,000		
事務用品費	320,000		
通信費	1,660,000		
会議費	50,000		
租税公課	230,000		
広告費	90,000		
修繕費	30,000		
交際費	120,000		
管理諸費	2,520,000		
雑費	162,000		
減価償却費	1,430,000		
その他経費計	24,090,809		
事業費計		73,510,809	
2. 管理費			
交通費	30,000		
消耗品費	20,000		
印刷代	100,000		
保険料	31,280		
通信費	20,000		
会議費	100,000		
雑費	30,000		
減価償却費	607,500		
管理費計		938,780	
経常費用計			74,449,589
当期経常増減額			488,211
法人税、住民税及び事業税			122,000
当期増減額			366,211

第6号議案 役員（理事・監事）改選（案）

令和2年6月9日をもって、理事長 庄司利美、理事 桑原則子、同佐藤裕子、同田中公一、同庄司弘之、同渡邊麻理、同岩清水エミ子、同廣野真美、監事 江戸静江は任期満了となるため、理事・監事の改選を行います。

次期役員の任期は、令和2年6月10日から令和4年6月9日までの2年間となります。